

# 中央区まるごと楽しんで

来月2日 お茶会、講談 多彩な催し

銀座の画廊、佃や月島かいわいの水辺、築地市場、浜離島恩賜庭園。中央区の観光スポットをPRしようとする区と区文化・国際交流振興協会は11月2日、区内各地で行われるイベントを巡って街歩きを楽しんでいます。「中央区まるごとハイキング」を初めて行つ。

民間や公的機関が催す約20の会場を無料のシャトルバスや船で結ぶ。銀座エリアでは、画廊十数店が絵画を持ち寄ってお茶会を開き、島崎藤村が学んだ区立泰明小(銀座5)では100人以上の芸術家が演奏会やワークショップを開く。八重洲の地下街など浮世絵がお目見えするのは

本橋かいわい、「講談発祥の地」の碑が近くにある築研堀不動院(東日本橋2)では講談会が楽しめる。晴海地域には12万本のバラの花びらが描かれた約150点

無料巡航のクルーザーは3ルート。片道約30分で、ガイドの説明つき。

3月にぶり、今回のハイキングでは、区の新住民と地元で使われる1000円分の買い物券があるスタンプラリーも実施。詳細はイベントHP(<http://www.chuo-cl.jp/>)または同課(03-5546-5346)。

元を理解してもらひ、地域活動への参加を促す狙いもある。9月に36年ぶりに人口が11万台を回復したが、地域への愛着やつながりが希薄で、町会加入率も低迷している。文化生涯学習課の小林秀規課長は「知らずに素通りしていく跡などもあるはず。23区内すべて区だが、宝物はたくさん詰まっている」と語る。